



2022年3月4日
株式会社商船三井
東邦ガス株式会社
北陸電力株式会社

台湾における洋上風力発電事業への出資参画について

株式会社商船三井（社長：橋本剛、以下「商船三井」）、東邦ガス株式会社（社長：増田信之、以下「東邦ガス」）および北陸電力株式会社（社長：松田光司、以下「北陸電力」）の3社は、台湾における洋上風力発電事業に参画するため、豪金融グループのマッコーリー社との間で、同社が保有する Formosa I International Investment Co., Ltd.（フォルモサワン・インターナショナルインベストメント。以下、「対象会社」）の株式 25.0%を取得することで合意しました（参考①）。なお、3社が海外で洋上風力発電事業に参画するのは、今回が初めてとなります。

対象会社は、100%出資する Formosa I Wind Power Co., Ltd.（フォルモサワン・ウィンドパワー。以下、「FWPC」）を通じ、台湾苗栗県の沖合で発電容量 12.8 万 kW の洋上風力発電所（以下、「フォルモサ 1」）の運営を行っています（参考②）。フォルモサ 1 は台湾における初の商用規模の洋上風力発電所であり、固定価格買取制度（FIT）に基づく台湾電力股份有限公司への 20 年間にわたる売電を、フェーズ 1（0.8 万 kW）では 2017 年 4 月に、フェーズ 2（12.0 万 kW）では 2019 年 12 月に開始しています。

本株式取得は、台湾において 3 社が共同で設立する特別目的会社を介して行い、同特別目的会社の持分は商船三井および東邦ガスがそれぞれ 37.5%、北陸電力が 25.0%を予定しています。3 社は同特別目的会社の設立申請手続きを既に開始しており、台湾当局からの承認取得、その他の諸手続きを経て本取引の完了となります。

3 社は、フォルモサ 1 への参画により洋上風力発電分野における知見を獲得し、再生可能エネルギー事業のさらなる拡大に取り組むことで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【各社の概要】

■商船三井

設立	1884年5月
本社所在地	東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
代表者	代表取締役社長 橋本 剛
事業内容	海運業など

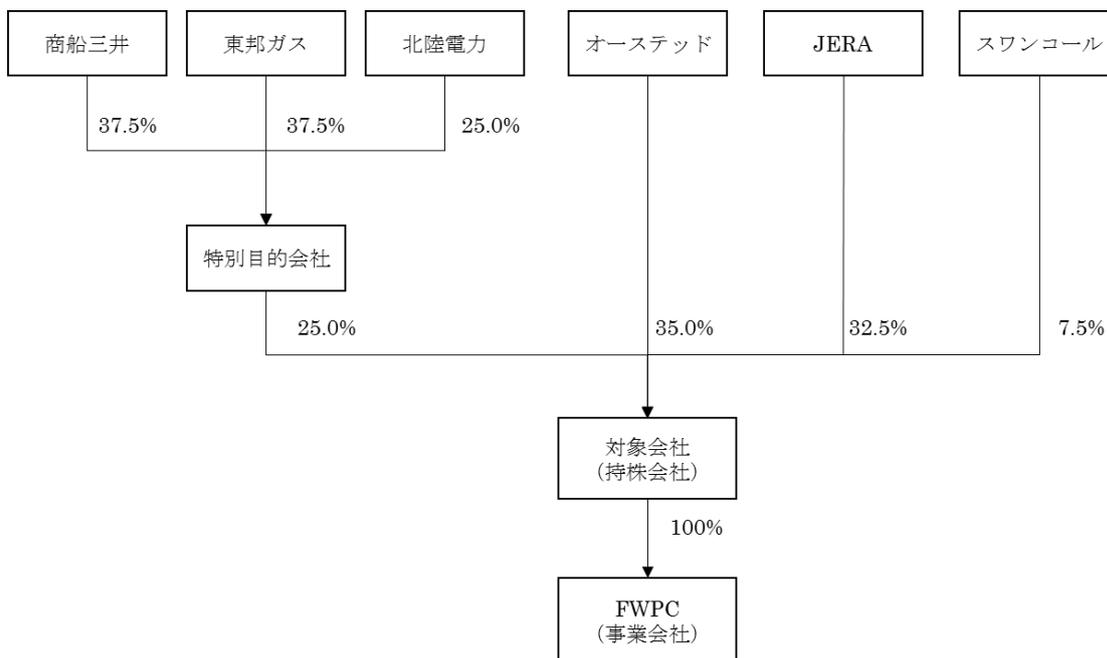
■東邦ガス

設立	1922年6月
本社所在地	愛知県名古屋市熱田区桜田町19番18号
代表者	代表取締役社長 増田 信之
事業内容	ガス事業、電気事業など

■北陸電力

設立	1951年5月
本社所在地	富山県富山市牛島町15番1号
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 松田 光司
事業内容	電気事業など

(参考①) 出資構成



(参考②) フォルモサ 1 洋上風力発電事業の概要・位置図

事業会社名	Formosa I Wind Power Co., Ltd.
発電所所在地	台湾 苗栗県沖 (Miaoli County)
発電方式	洋上風力発電 (着床式)
発電容量	12.8 万 kW
基数	22 基
売電先	台湾電力股份有限公司 (Taipower)
商業運転開始	フェーズ 1 (0.8 万 kW) 2017 年 4 月 フェーズ 2 (12.0 万 kW) 2019 年 12 月



以上